



やればできる細野っ子

細野小学校 6年 田中大和 中園諒哉



小中合同細野ソーラン

細野 小学校は、全校が元気で仲のよい学校です。みんなが仲がよいのは訳があります。毎週水曜日の清掃の時間に、全校でふれあうための「ふれあいタイム」という交流時間があるからです。今の時期は長縄跳びの練習を縦割り班でしています。もし、下級生がひっかかったりしたら、上級生が励まして、跳べるまで優しく教えます。僕たちの学校には「やればできる四ヶ条」という全校でがんばっていることがあります。

「はいっ」の返事、腰骨を立てる、朝のあいさつ、はきものをそろえることです。これを朝登校してから、帰るまで心がけています。特に「腰骨を立てる」は、細野小学校が始めた姿勢をよくする取り組みなので、がんばっています。細野中学校との交流もたくさんあります。運動会では中学生と小学生がそれぞれの運動会の時に、「細野ソーラン」を踊ります。これは毎年行われており、5・6年生の伝統になっています。

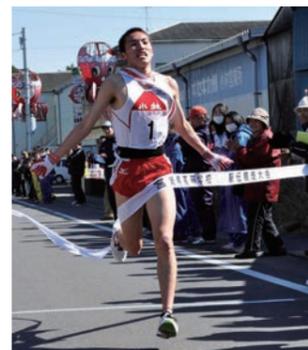
学力を向上させる取り組みもいろいろなことをがんばっています。たとえば校内スキルアップテストで、国語と算数の成績が上がる校長先生から努力賞という賞状をもらえます。その他に、掃除のあとに15分間の「基礎の時間」があり、みんな一生懸命取り組んでいます。何事にも一生懸命取り組むところが、僕たち細野っ子のいいところです。



小林高校駅伝部男女がアベック優勝で年末へはすみ 県高校新人駅伝



小林高校男子は、2区の河野選手が区間新記録を記録するなど、5区間で区間賞を奪う圧倒的な走り。昨年の全国大会入賞メンバー5人が残る新チームが、期待どおりの走りを見せてくれました。横山美和監督は「連戦の疲れもあったと思うが、選手の成長を感じた。今後は、誰が欠けてもしっかりと走れるよう、底上



県 高校新人駅伝競走大会が、2月10日、小林市く高原町間で開催されました。オープン参加を含め、男子26校32チーム、女子19校22チームが出場。男子(6区間26分39秒)は小林高校が1時間17分39秒の大会新記録で38度目の優勝。女子(5区間・15分5秒)も、小林高校が51分8秒で18度目の栄冠を手にしました。

小林高校男子は、宮崎日大と3区まで大接戦。しかし、4区で差を広げると、後の選手がリードを守り逃げ切りました。小坂康弘監督は「レギュラーを2人欠いた状態で、厳しいレース展開を覚悟していた。4区のキャプテンがよく走ってくれた」と振り返り、「今年のチームの骨組みはできたので、ここから年末に向けて強化したい」と今年の抱負を話していました。



夢と元気と勇気ある小林教育のために

～平成24年度市教育研究センター調査研究発表並びに教育研究論文・授業論文表彰式～



教育研究論文1席 甲斐 寿美(南小)



授業論文1席 大木場 俊弘(西小林小)



学校賞 永久津中学校



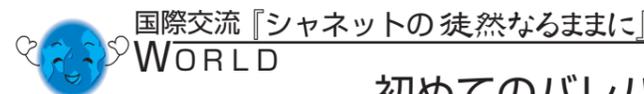
学校賞 野尻中学校

市 教育研究センター調査研究発表会並びに教育研究論文・授業論文表彰式が2月15日、文化会館で行われました。表彰式では、教育研究論文65点、授業論文13点から、入賞作品と学校賞を表彰。

表彰式後、両論文の1席受賞者が発表を行いました。

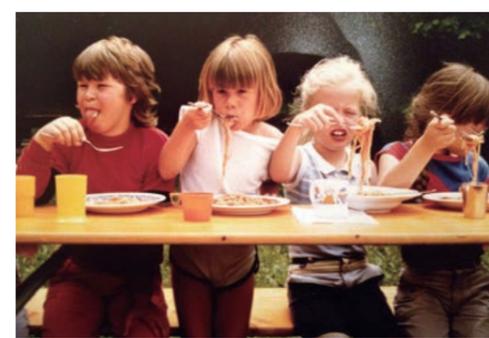
また、2つの中学校区(小林中・紙屋中)から小中一貫教育で取り組んでいる実践発表が行われたほか、市教育研究センターの研究者らが「確かな学力を育成するための小林市ならではの授業の創造」に関する研究を発表。参加者は、さまざまな課題解決に向けた取り組みを学びました。

- 【教育研究論文】**
- 一席：甲斐寿美(南小)
 - 二席：中武光一郎(小林小)
 - 二席：東迫健一(永久津中)
 - 三席：采女有佐(南小)
 - 三席：原屋敷貴子(永久津中)
 - 三席：堀内潤一郎(三松中)
- 【授業論文(映像記録)】**
- 一席：大木場俊弘(西小林小)
 - 二席：岩崎香恵(野尻中)
 - 三席：海老原徹(小林小)
 - 三席：吉國敬一(須木中)
- 【学校賞】**
- 永久津中学校
 - 野尻中学校
- 【市授業力向上モデル委員】**
- 大木場俊弘(西小林小)



初めてのバレバレおサボリ

Vol.15



▲小さい頃の私はどれでしょう？正解は左から2番目です。

私 は小さい頃、本当に素直な子どもでした。もすごく素直で、大人びた子どもでした。「○○手伝わて。じゃあ、手伝います。○●しないです。じゃあ、しません。」「菌磨き?」。寝る前に済まないと、寝られませんか。素直でしたが、恐がり屋さんでした。たまには、恐がり屋さんシャネットは素直ちゃんシャネットを邪魔してしまいました。

遠い過去の、ある夏の日にタイムスリップしましょう。この日は幼稚園で、レニーおばちゃん(先生)が「明日、鶏を描きます」と予告しました。私には信じられません。5才の私には信じられません。だって鶏なんて描けません。帰り道に一つ下の親友と相談。もちろん親友も鶏は描けません。そこで、次の日、一緒に幼稚園をさぼることにしました。いつもどおり、二人で幼稚園に向かいます。だけど、今日だけは途中にある桃の木に登って、お腹いっぱい桃を食べます(人の家の木なのに)。隣のおばあちゃんに、「幼稚園が終わったら、教えてください」とお願いし、木の上で時間をつぶします。長い時間が過ぎたような気がしました。「きつと、おばあちゃん、うちのことが忘れてるでしょ。そろそろ帰ろうか。ママもきつと心配してるし」と二人で焦って、家に急ぎます。着いたら、ママがびっくりです。「早い、どうしたの?」「えつと、今日は早く終わってた?」「いやー、バレバレでした。でも、怒られなかったです。それからはすっかり通いました。学校はまた別な話ですが...